

徳島東環状線

東環状大橋(仮称)環境モニタリング調査

平成 22 年度 年報

工事 8 年次 (平成 22 年度)

(平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月)

東環状大橋(仮称)の名称は平成 24 年 2 月 13 日に次のように正式決定されました。

正式名称：「阿波しらさぎ大橋」

平成 24 年 3 月

徳島県 県土整備部 東部県土整備局

目 次

第1編 工事等の概要	1-1- 1
第1章 工事概要	1-1- 1
1. 全体工事概要	1-1- 1
2. 工事進捗状況	1-1- 1
3. 平成22年度工事の作業内容	1-1- 1
4. 平成22年度の現場状況	1-1- 3
第2編 環境モニタリング調査の概要	2-1- 1
第1章 環境モニタリング調査の実施手順	2-1- 1
第2章 環境モニタリング調査の公開	2-2- 1
第3章 環境モニタリング調査の実施	2-3- 1
第3編 平成22年度（工事8年次）の環境モニタリング調査	3-1- 1
第1章 平成22年度の吉野川下流域の流量、降水量の変化と、吉野川河口における干潟の経年的な変化	3-1- 1
1-1. 平成22年度の水位、降水量など	3-1- 1
1-2. 吉野川河口干潟の経年的な変化	3-1- 4
第2章 水質調査	3-2- 1
2-1. 調査概要	3-2- 1
2-1-1. 調査内容	3-2- 1
2-1-2. 調査位置	3-2- 2
2-1-3. 調査方法	3-2- 3
2-2. 調査結果	3-2- 5
2-2-1. 調査結果	3-2- 5
2-2-2. 調査結果のまとめ	3-2- 22
第3章 地形調査	3-3- 1
3-1. 調査概要	3-3- 1
3-1-1. 調査内容	3-3- 1
3-1-2. 調査位置	3-3- 2
3-1-3. 調査方法	3-3- 3
3-2. 調査結果	3-3- 7
3-2-1. 平成22年度の地形調査調査日時および航空レーザー計測時の潮位	3-3- 7
3-2-2. 平成22年度調査での干潟地形	3-3- 8
3-2-3. 干潟の面積(経年変化)	3-3- 9
3-2-4. 干潟地形の経年変化	3-3- 12
第4章 基盤環境調査	3-4- 1
4-1. 調査概要	3-4- 1
4-1-1. 調査内容	3-4- 1

4-1-2. 調査地点	3-4-2
4-1-3. 調査方法	3-4-5
4-2. 調査結果	3-4-7
4-2-1. 平成 22 年度の気象概況	3-4-7
4-2-2. 干潟部基盤環境調査	3-4-10
4-2-3. 浅海域河床底質調査	3-4-20
4-2-4. 干潟部基盤環境の水平分布	3-4-24
4-3. 考察	3-4-33
4-3-1. 今年度調査結果による分析項目の相関について	3-4-33
4-3-2. 経年変化	3-4-41
4-4. 基盤環境調査のまとめ	3-4-49
4-4-1. 干潟上の基盤環境：干潟部基盤環境調査	3-4-49
4-4-2. 干潟周辺河床域の基盤環境：浅海域河床底質調査	3-4-49
第 5 章 鳥類調査	3-5-1
5-1. 調査概要	3-5-1
5-1-1. 調査内容	3-5-1
5-1-2. 調査方法	3-5-1
5-2. 調査結果	3-5-5
5-2-1. 指標種生息状況調査結果	3-5-5
5-2-2. 飛翔状況調査結果	3-5-16
5-2-3. 繁殖状況調査結果	3-5-27
5-2-4. 特筆すべき鳥類	3-5-31
5-3. 考察	3-5-33
5-3-1. 指標種生息状況調査の経年変化（シギ科・チドリ科）	3-5-33
5-3-2. シギ科・チドリ科の飛翔高度の経年変化	3-5-36
5-3-3. シギ科・チドリ科の飛翔経路の経年変化	3-5-38
5-3-4. オオヨシキリ繁殖状況の経年比較	3-5-44
5-4. まとめ	3-5-47
第 6 章 底生生物調査	3-6-1
6-1. 調査概要	3-6-1
6-1-1. 調査内容	3-6-1
6-1-2. 調査位置	3-6-3
6-1-3. 調査方法	3-6-6
6-2. 調査結果	3-6-10
6-2-1. 干潟の基盤環境	3-6-10
6-2-2. 平成 22 年度に確認された底生生物	3-6-13
6-2-3. 指標種調査、ヨシ原調査で確認された干潟上の指標種	3-6-22
6-2-4. ヨシ原調査結果でのカワザンショウ類観察結果	3-6-26
6-2-5. 指標種調査ガザミ類採取結果	3-6-27
6-2-6. 定量調査結果	3-6-28
6-2-7. 魚類調査で確認された底生生物	3-6-40
6-2-8. 海藻草類調査結果	3-6-42
6-2-9. 浅海域河床底質調査地点での定量調査	3-6-43
6-2-10. ウモレマメガニ分布調査	3-6-46
6-2-11. ウモレマメガニの個体サイズ	3-6-49
6-2-12. ウモレマメガニ分布調査で確認されたその他の底生生物	3-6-50

6-3. 考察	3-6-56
6-3-1. 指標種の経年比較	3-6-56
6-3-2. 河口干潟	3-6-56
6-3-3. 住吉干潟	3-6-57
6-3-4. カワザンシヨウ類の経年変化	3-6-107
6-3-5. ガザミ類の経年変化	3-6-111
6-3-6. 定量調査	3-6-112
6-3-7. ウモレマメガニの経年変化、生活史および基盤環境との関係	3-6-116
6-3-8. 希少種の経年変化	3-6-127
6-3-9. 確認種の経年変化	3-6-133
6-4. 底生生物調査のまとめ	3-6-143
第7章 魚類調査	3-7- 1
7-1. 調査概要	3-7- 1
7-1-1. 調査目的	3-7- 1
7-1-2. 調査内容	3-7- 1
7-1-3. 調査時期	3-7- 1
7-1-4. 調査位置	3-7- 2
7-1-5. 調査方法	3-7- 4
7-2. 調査結果のとりまとめ	3-7- 6
7-2-1. 調査地点の環境概要	3-7- 6
7-2-2. 魚類確認種の概要	3-7- 9
7-2-3. 代表種の分布状況	3-7-14
7-2-4. 魚類以外の確認種について	3-7-29
7-3. 考察	3-7-35
7-3-1. 魚類の出現傾向	3-7-35
7-3-2. 希少種の確認状況	3-7-38
7-4. 調査結果のまとめ	3-7-40
第8章 昆虫類調査	3-8- 1
8-1. 調査概要	3-8- 1
8-1-1. 調査内容	3-8- 1
8-1-2. 調査地点	3-8- 1
8-1-3. 調査方法	3-8- 3
8-1-4. ルイスハンミョウ調査	3-8- 7
8-2. 昆虫相調査結果	3-8- 9
8-2-1. 調査時期	3-8- 9
8-2-2. 調査月別確認概況	3-8- 9
8-2-3. 調査地区別確認概況	3-8-10
8-2-4. 確認種数の経年比較	3-8-13
8-2-5. 希少種	3-8-14
8-2-6. まとめ	3-8-17
8-3. ルイスハンミョウ調査結果	3-8-18
8-3-1. 成虫調査	3-8-19
8-3-2. 幼虫調査	3-8-22
8-3-3. 補足	3-8-35
8-3-4. まとめ	3-8-48

第9章 植物	3-9-1
9-1. 調査概要	3-9-1
9-1-1. 調査内容	3-9-1
9-1-2. 調査地点	3-9-1
9-1-3. 調査方法	3-9-6
9-2. 調査結果	3-9-8
9-2-1. 植生調査結果	3-9-8
9-2-2. 指標種と基盤環境	3-9-52
9-2-3. 高茎草本群落調査	3-9-64
9-3. 考察	3-9-70
9-3-1. 吉野川河口域の植生	3-9-70
9-3-2. 植生面積の経年変化	3-9-76
9-3-3. ヨシ群落の経年変化	3-9-79
9-4. 補足調査	3-9-83
9-4-1. ナルトサワギクの除去とその効果について	3-9-83
9-4-2. サボテン科の植物の定着について	3-9-86
9-5. まとめ	3-9-87
9-5-1. 植生調査(植物群落と植物相)	3-9-87
9-5-2. 指標種と基盤環境の関係	3-9-87
9-5-3. 高茎草本群落調査	3-9-88
9-5-4. 経年変化	3-9-88
第4編 平成22年度調査結果の概要と今後の調査方針	4-1-1
第5編 報告書の縦覧について	5-1-1